

令和2年3月19日

当院および東京慈恵会医科大学附属病院に脳梗塞で入院歴がある患者さん・ご家族へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などはありません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますのでご了承ください。

【対象となる方】2011年10月から2017年2月にかけて、主幹動脈閉塞を有する急性期脳梗塞（軽傷）、一過性脳虚血発作の診断で脳血管内科・脳神経内科に入院された患者さん

【研究課題名】脳血管内科・脳神経内科合同データベース（M23-073-4）を用いた主幹動脈閉塞を有する軽症脳梗塞例の転帰関連因子の検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 副院長 豊田一則

【研究の目的】主幹動脈閉塞を有する軽症脳梗塞患者における予後関連因子を、当院および東京慈恵会医科大学における後向き観察研究によって検討します。

【利用する診療情報】

○入院時の状況：年齢、性別、発症から来院までの時間、入院時 NIHSS 値（神経学的重症度の尺度）、入院前抗血栓薬使用、併存疾患と脳卒中リスク因子（心房細動、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、喫煙、一過性脳虚血発作を含む脳卒中既往歴）、入院時 MR 血管造影検査で評価された閉塞血管部位、脳卒中病型、入院時採血データ、血栓溶解療法の有無、血管内治療の有無

○退院以降の情報：発症3か月後の modified Rankin Scale（自立度の尺度）

※東京慈恵会医科大（責任者：神経内科 教授 井口保之）からも、同じ内容の情報を受け、共同で研究を実施します。

【研究期間】研究許可日より2022年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できない形で使用いたします。

【問合せ先】国立循環器病研究センター 脳血管内科 部長 古賀政利

住所 〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号

電話番号 06-6170-1070